長崎市立桜馬場中学校　学校教育目標　国際社会に生きるよき日本人の育成

桜中だより No.19

令和８年１０月２日
校長　廣瀬　忠義

10/1(木)市中総体駅伝競技大会～素晴らしい走りに感動～

やや日差しが強い秋晴れのもと、長崎市中総体駅伝競走大会がかきどまりで行われました。７月から練習を始め、暑い日々の中も一生懸命に練習に取り組んできたメンバーの皆さん。保健体育科の　　先生・　　先生・　　先生・　　先生、そして　　先生とともに練習に励み、試走も行うなど力をつけるための努力を重ねてきました。夏休みは、生徒と一緒に力走する　　先生の姿もありましたね。

９月３０日に行われた推戴式で、私は、「努力は人を裏切らない」こと、そして、日々の練習の中でチームとしてのまとまりが結果につながることなどを話したところでした。メンバーの皆さんの努力は、「一生懸命」という言葉一つで表されるようなものではなかったと思います。

そして迎えた本番。開会式の後、10:30、女子のレースがスタート。第１走者が陸上競技場のトラックから外周コースへと向かいます。１区から５区まで総距離は１２km。やや日差しがまぶしく感じられる天候の中、５人の選手がしっかりとタスキをつなぎ、４位でゴール。昨年度の順位を上回る成績を残しました。



女子の部	４位入賞	４６分２２秒
１区	２区	３区
４区	５区	

そして、12:30、男子のレースがスタート。女子と同じく、第１走者が競技場を２周してから外周コースへ。男子の方は６区まで総距離１８km。前へ前へと突き進む選手たち。大きな声でランナーを応援する姿もありました。最後まで素晴らしい走りを見せ、５位でゴール。

男女とも入賞となる見事な成績でした。



男子の部	５位入賞	１時間３分２７秒
１区	２区	３区
４区　（区間賞）	５区	６区



これまで出場選手とともに練習に取り組んだ皆さんも、様々なところでサポートに努めていました。チームとしてまとまりを見せ、励まし合う雰囲気を高めてきたことがすばらしい結果につながったと思います。本当にお疲れさまでした。

保護者の方々も応援に駆けつけてくださいました。試走の送迎など、多大なるご協力をいただき、選手にとって大きな力になったと思います。ご声援、ありがとうございました。

お詫び～第18号について

９月３０日に発行した第１８号（「感動の合唱コンクール」）で、３年１組と３年２組の自由曲が逆で表記されていました。正しくは３年１組が「虹」、３年２組が「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～」となります。大変申し訳ありませんでした。